



四季 ~四中の季節~

第1号(4月)

教育目標 ●自分で考え進んで実践する人間 ●公共心に富み情操豊かな人間
●勤労を尊び責任を重んじる人間 ●健康でたくましい人間

令和6年4月8日発行

校長 関 勝 志

〒187-0045

小平市学園西町1-3-1

☎ 042 (341) 4344

Mail gakkou@34.kodaira.ed.jp

令和6年度 始業式 「凡事徹底」と「凡事継続」

校長 関 勝 志

いよいよ令和6年度がスタートしました。同時に小平四中創立60年目の始まりです。きっと生徒たちには、これから始まる新しい生活への期待とともに、学年が一つ上がったことによる自覚や意欲が芽生えていることでしょう。その気持ちを大切にしてほしいと思います。

2年生は中堅学年として、3年生を支え、1年生の見本になるという大切なポジションです。もう先生の指示がなくても自分たちで考え、判断し、行動できなければならない学年です。

3年生はついに最上級生となりました。小平四中の顔です。3年生の姿がそのまま小平四中の姿と言っても過言ではありません。それだけに、大きな期待と責任を背負っています。

2年生も、3年生も、これまで何事にも主体的に取り組み培ってきた力を、より良い方向に向け発揮してほしいと思います。そして今までどおり、元気と明るさを大切にしてほしいと思います。

「凡事徹底」とは当たり前のことを徹底的に行い極めること、「凡事継続」とは毎日やり続けることを意味します。そして、生徒たちに実行してほしい凡事は、「気持ちのいい挨拶」です。

毎年、3年生の面接練習で「あなたの学校はどんな学校ですか」と聞くと、多くの生徒が「挨拶がよくできる学校です」と答えます。でも、先生や保護者、地域の方たちの評価はあまりよくありません。

一対一で面と向かって挨拶されて無視する生徒はいませんが、比較的によく挨拶する生徒でも、友だちとおしゃべりしていると挨拶を返さなかったり、相手の方に顔を向けずに挨拶したり、ポケットに手をつこんだまま挨拶する姿をよく目にします。また、部活のときは大きな声で挨拶するのに違う場面だと声が出ないように感じることもあります。

アメリカメジャーリーグで大活躍の大谷翔平選手は、投手と打者を両立するという前人未踏の二刀流にチャレンジし、最優秀新人選手賞やMVP、本塁打王など、数々の偉業を達成しました。しかし、大谷選手の偉大さは、野球の成績だけではありません。誰からも愛される大谷選手の魅力は何でしょうか。

それは、人間力です。人間力とは、自立した人としてより良く生きていくための力です。考え方や心のもち方が大きく関わっています。だから、大谷選手はどんな場面でも謙虚で、丁寧に挨拶をし、必ず感謝の言葉を口にします。



挨拶することは、相手の存在を認め、関係を大切にすることにつながります。仲の良い人しか大切にしなければ、「誰一人取り残さない学校」にはなりません。

小平四中の「気持ちのいい挨拶」のポイントは5つあります。①相手の目を見て、②自分から先に、③正しい姿勢で、④心をこめて、⑤明るく大きな声で挨拶をしようです。ぜひとも、2・3年生(先輩)には、新1年生(後輩)の見本になってほしいと思います。

「小平四中の良いところは」と聞かれたら、胸を張って「生徒も先生も気持ちのいい挨拶をするところ」と答えられたら素晴らしいです。ぜひともそうなってほしいと願っています。挨拶に特別な能力は必要ありません。心がけ一つです。小平四中の新しい伝統と誇りができることを期待しています。

今年度は、「多様な学びの場」「よりよい学級づくり」「GIGA スクール」「学力向上」に重点を置いて教育活動を推進いたします。「多様な学びの場」の取組として、算数・数学と英語の「学び直し教室」を開設します。すでに学習した小学校高学年から中1までの内容です。「学び直したい」「基礎学力を身に付けたい」「学習習慣を身に付けたい」という生徒に利用してほしいと思います。また、カルガモ教室でも、学び直しやボランティア、自然と触れ合う学習、作業療法などを行う予定です。教室で授業を受けるのが辛くなったときは相談してください。詳細については、後日お知らせいたします。

教職員はもとより、家庭や地域、関係機関が一丸となり、「チーム四中」として学校経営を進めてまいります。保護者の皆様、そして地域の皆様には、これから一年間お世話になることがたくさんあると思いますが、温かいご支援をよろしくお願いいたします。

